

知事を囲む懇談会 組合事例発表

業態変革推進プラン、
新たなビジネスモデルの構築



山形県印刷工業組合
鈴木 高明 理事長

組合だから出来ること、
組織を活かした事業



山形県板金工業組合
有賀 昭彦 副理事長

高齢者向けの宅配事業の、
システム化に向けて



協同組合ショッピングパークめぐみ
屋島 幸治 理事長

キビソを活用した
新素材・製品開発、
欧州への進出



鶴岡織物工業協同組合
田中 尹 理事長

地域コミュニティを
支える商店街



山形県商店街振興組合連合会
大泉 好 理事長

講演会

講演会では、株式会社片山商店の片山象三代表取締役より『革新的なものづくりへの挑戦～あきらめなければ失敗ではない～』と題し、「ものづくり」を通じた中小企業の生き残りについて、講演をいただいた。

片山氏は、海外との過酷なコスト競争の中、「産地を守るための新しい技術をみんなで開発する」というスローガンを掲げ、多くの危機に見舞われながらも「完成しないと明日はない」との思いで乗り越え、一回の織物準備で複数柄の織物を同時生産することが可能となる「多品種小ロット織物生産システム(アレンジワインダー)」を開発した。これにより、2005年に「第1回ものづくり日本大賞」を受賞している。

また、「織物産地からドレスを発信＝織りながら縫製する新たな技術」「残った糸、布からバイオエタノールを精製して世界初のゼロ・エミッション織物産地を目指す研究」等地元の織物産地が抱える課題に対して、「苦しい地方経済のために」「国内繊維産業の為に＝中国には売らない」をモットーに、産学官連携の研究開発事業を行っている。

